

**加アラダ・システムズ、コネクテッドカー技術開発で
ルネサス・エレクトロニクス・アメリカと提携**
～本日から開催の「人とくるまのテクノロジー展 2015」にて発表～

※加アラダ・システムズは、本日から開催の「人とくるまのテクノロジー展 2015」に出展しています。
(5月20日～22日、パシフィコ横浜にて開催。出展場所:カナダパビリオン、ブース番号300)

5月20日 横浜/ミシガン州トロイ

DSRC(専用狭域通信)の先端を行くアラダ・システムズ(本社:カナダ・オンタリオ州)は、今後市場拡大が予想される V2X(車車間通信および路車間通信)の開発のために、大手半導体メーカー ルネサス・エレクトロニクス・アメリカと提携したことを発表しました。この V2X ソリューションは、先進運転支援システム(ADAS)を補完し道路上の衝突を防止します。

今回のパートナーシップにより、自動車関連半導体の世界トップレベルのサプライヤーと、トップレベルの V2X ソリューション・プロバイダーの専門知識・経験を一つにあわせて、自動車関連 OEM メーカーやティア1サプライヤーに信頼できるコネクテッドカー・テクノロジーを提供することができま

す。
ルネサスとの協力で開発されるこの技術は、ADAS の自動車衝突防止能力を向上させます。

「コネクテッドカーの技術は、自動車環境の認識を拡大し、潜在的な障害物に反応するドライバーの即応力を高めて、より安全な運転状況を作ることに大いに貢献します。弊社は、今回の提携により、次世代のコネクテッドカーにもたらされる新しいパワーにわくわくしています」とルネサス・エレクトロニクス・アメリカ、自動車担当バイスプレジデントのアムリット・ビブカナンド(Amrit Vivekanand)氏は語っています。

アラダ・システムズのプラブーン・シン(Praveen Singh)最高経営責任者(CEO)は次のように述べています。

「アラダは、OEMソリューションにおけるV2Xを推進するのにルネサスと協力できることを喜ばしく思います。いま V2X が主流に躍り出ているときに、世界の OEM メーカーは、ルネサスのようなグローバル半導体メーカーの技術と弊社の総合的ソリューションを合わせて、彼らのチップセットの中に組み込むことが可能となります。」

米国幹線道路交通安全局(NHTSA)によれば、年間 500 万件の車の衝突事故が発生し、3 万 3,000 人以上の死者が出ているということです。これらの事故は、コネクテッドカー技術を使っていれば、防止できる可能性が高いと言われています。V2X の技術は、高速度で走行しているときにで

も、確実に車車間通信し合うことができ、ドライバーに潜在的な危険物について警告し、衝突を回避することを可能にします。

場合によっては、通常の人間の反応時間よりもすばやく運転状況を変更することで、自動的にそのような危険に対応することも可能となります。NHTSA によれば、V2X 技術は米国内の衝突事故を 80%まで減らすことができます。米国議会に提出された新しい法案は、ドライバーの安全と燃料効率を最大化するために、現在の自動車安全対策の中に V2X 技術の車への搭載を将来は義務付けるとされています。多くの自動車メーカーは、すでに彼らの V2X のロードマップ作業を開始しています。

アラダ・システムズとルネサス・エレクトロニクスは、衝突回避や半自動運転機能など、積極的な安全システムのための V2X ソリューションを開発すべく緊密に協力しています。このソリューションは、ルネサスの高性能で最先端の R-Car System-on-Chip (SoC) および IEEE 802.11p プロトコルをベースにしたアラダ・システムの DSRC/WAVE ソリューションをさらに補強します。さらに、アラダ・システムズは、アーキテクチャー、セキュリティーサービス、メッセージマネジメント、ネットワークング、マルチモーダルオペレーションなどのために IEEE 1609.x プロトコルを提供します。

アラダ・システムズについて



アラダ・システムズはクアルコムアセロス社を母体として設立され、企業、アウトドア、産業、自動車アプリケーション向けに Wi-Fi の新たな利用を中心とした先進の無線システムを提供しています。アラダ・システムズは高度な無線およびプロトコル技術に基づき自動車アプリケーションの新基準規格である DSRC (Dedicated Short Range Communication: 専用狭域通信) の先陣を切る企業です。同社は 15 年以上も DSRC を使用した V2X ソリューションを開発し続けています。アラダ・システムの V2X の良く知られた商品としては LocoMate シリーズがあります。LocoMate は、車両、路側、およびポータブル向けの DSRC 装置、ソフトウェアで構成される通信プラットフォームです。DSRC を介して、他の自動車、オートバイ、通行人との通信をすることが可能であり、事故発生の危険を未然に警告して衝突を回避し人命を救うことが可能です。アラダ・システムズは歩行者の安全のためにモバイルの DSRC を使用した V2X 装置を開発した初めての企業です。

アラダ・システムズホームページ(英語) : <http://www.aradasystems.com>

【本件の内容についてのお問い合わせ先】

担当: Vinay Thadani

VP/Product Management

Arada Systems, Inc.

Eメール: vthadani@aradasystems.com ※英語のみ対応可能

【リリースに関するお問い合わせ先】

アラダ・システムズ日本広報窓口(株式会社トークス内) 森田・三浦

電話番号: 03-3261-7715

Eメール: ontario@pr-tocs.co.jp